



『 第 3323 回例会 』 2025 年 1 月 23 日(木) 司会 松田 圭司 会長

点 鐘

ロータリーソング 「それでこそロータリー」

四つのテストの唱和 小田原 豊満 会員

ゲスト 0

ビジター 0

会 長 報 告

- ・ 特にございませぬ。

幹 事 報 告

- ・ ガバナーエレクト事務所より「2025-26 年度地区委員推薦の依頼文章」が届いております。
- ・ 創立記念例会の出欠を回覧致しますのでご記入ください。

委 員 会 報 告

◎出席委員会 西村 健 委員長

免除会員出席数 17 名

一般会員出席数 20 名

メーク 0 名

計 37 名

(出席率:62.71%)(現在会員数:69名)

◎ニコニコBOX委員会 伊藤 康朗 委員長

- ・ 小坂 勝彦 会員

1月は私と妻の誕生月です……………2口

- ・ 小西 暁 会員

本日の鈴木アヒナ麻由さんのスピーチを
歓迎して……………1口

- ・ 大原 孝浩 会員

アヒナさんのスピーチ楽しみにしてました。
……………1口

- ・ 伊藤 康朗 ニコニコ委員長

アヒナさんのスピーチ楽しみにしています。
……………1口

- ・ 高橋 清幸 会員

麻由ちゃんのスピーチに期待を込めて。
……………1口

- ・ 高久 臣一 会員

鈴木アヒナ麻由会員のスピーチにニコニコ
……………1口

- ・ 上野 定之 会員

プログラム委員長として、麻由ちゃん、今日
宜しくお願いします……………1口

例 会 行 事



スピーチ

【日本舞踊の魅力】鈴木アヒナ麻由 会員

❖日本舞踊とは

日本舞踊は、江戸時代に歌舞伎から派生

しています。歌舞伎には古い時代から、風紀上の問題で女性が舞台に立てない問題がありました。そのため、大奥で女性たちが踊ったのが日本舞踊の始まりであったと言われています。

❖藤間流について

藤間流は、300年以上の歴史のある五大流派の一つ。1704年頃に藤間勘兵衛が創流し、今日では「家元」勘右衛門派と「宗家」勘十郎派の二派に大別させる。

劇場映えするどっしりとおおらかな振りの舞踊が特徴。歌舞伎役者の七代目松本幸四郎さんや四代目尾上松緑さんが創流している。

❖他の踊り、ダンスとの違い

日本舞踊は、その独自の美しさと表現力にあります。柔らかな手の動きや優雅な身のこなし、そして大道具や小道具、衣装の美しさが、観る人々を魅了する要素となっています。

❖日本舞踊を習うメリット

- ・日本文化に詳しくなる・姿勢が良くなる・礼儀作法が自然に身につく・着物が自分で着れるようになる・和の心がわかるようになる

❖経歴紹介

- ・3歳で師匠につき習い始める
- ・6歳の時に湯沢文化会館で初舞台を踏む
羽根の禿(はねのかむろ)
- ・高校生で藤娘(ふじむすめ)を披露
- ・2009年大学時代に横浜の藤間恵都子先生に従事
- ・2010年横浜能楽堂にて長唄「汐汲」を披露
- ・2024年7月から藤間寿々穂先生に再び入門
- ・「大仙市誕生20周年記念事業」の中で「藤間流藤扇会日本舞踊公演」から「菖蒲浴衣」を披露(右写真)

❖菖蒲浴衣について

あやめ柄の浴衣のこの曲は端午の節句や初夏の風物、川遊びの情景を綴った粋な雰囲気夏の代表する長唄の一つ。曲中衣服にまつわる言葉が沢山出てきます。浴衣の広告で襲名披露のスポンサーに呉服屋がついたから、とも言われている。



2024年9月15日大曲市民会館大ホールにて日本の伝統文化を華麗に披露された
鈴木アヒナ麻由会員